

十王中学校による郷土芸能「十王鶉鳥舞」

(8ページに関連記事)



CONTENTS

特集 特色のある地域との活動

- 会長挨拶
- 各委員会活動報告
- 日 P 関東ブロック大会 横浜大会 参加報告
- 特色のある地域との活動
- インターネット環境に関するアンケート調査結果について
- 日立市教育振興大会 発表報告
- 寄稿 PTA との連携について
- 茨 P 連女性ネットワーク委員会研修会 参加報告
- 茨城県 PTA 振興大会表彰式典 受賞者紹介

日立市立小・中学校 P T A 連合会 会長挨拶

会長 志摩邦雄

今年はオリンピックイヤー。今から暑い夏(8/5～21)がとても楽しみです。この様なビッグイベントは、人々の気持ちを高揚させ、社会全体が明るくなります。スポーツの、特に国際的な大会の持つ力(価値)だと思います。私たちもこの力を、子どもたちの身心の成長に何とかつなげたいと思います。

そのような中であって、私たちの地道な日々の営みの中で、子どもたちは少しずつ言葉を獲得し、知識だけではなく様々な知恵も吸収して社会性を身に付けていきます。その機会の一つとして土曜授業・放課後学習が始まりました。第2回単P会長会議では先生方とも意見を交換しながら、保護者や地域で何ができるか、課題は何かを共有しました。また、現在ではインターネット環境を安全に利用できるということも社会性の重要な部分となっています。全国学力・学習状況調査(平成26年4月実施)の日立市内の結果を見ると、ケータイ、スマホでメールやインターネット等ができる環境にある中学生が76.2%、小学生でも58%います。子どもたちだけではなく、私たち大人もしっかりと身に付けなくてはならない社会性の一つです。各校の校長先生、単P会長さんには、それらについてのアンケート調査にご協力いただき、その結果をもとに第3回単P会長会議を開催しました。単P会長会議で得た知見は、他の機関とも共有して子どもたちの健やかな育ちに寄与していきたいと思います(アンケート結果等は別項をご参照ください)。

最後に、PTA会員の皆さんはもとより、関係機関の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、市内40校の会長さん、母親委員さん、そして幹事局員さん、事務局員さん等の皆さんと市P連の活動ができたことは私の誇りです。心より感謝いたします。



常任委員会での討議



平成27年度スローガンを囲み、市P連メンバー全員集合

市 P 連 事 業 報 告

- 5月 9日 平成27年度定期総会
- 5月12日 第1回役員会
- 6月 2日 第1回常任委員会
- 6月28日 第1回単P会長会議
- 7月10日 第2回役員会
- 9月 1日 第3回役員会
- 9月15日 第2回常任委員会
- 10月20日 第4回役員会

- 10月28日 第3回常任委員会
- 11月 6日 第2回単P会長会議
- 1月12日 第5回役員会
- 1月19日 第4回常任委員会
- 2月 7日 第3回単P会長会議
- 2月26日 第6回役員会
- <今後の予定>
- 5月14日 平成28年度定期総会

生涯学習委員会 報告

委員長 竹山広行



今年度の生涯学習委員会は 17 名のメンバーで、テーマを「PTA 活動を考える」と掲げ活動しました。具体的には日立市内の小中学校で今年度より始まった土曜授業について PTA はどのように関わることができるのか、その可能性を探るため、議論を重ねてきました。

第 2 回単 P 会長会議では教育委員会指導課長の川崎恭子様から「土曜授業・放課後学習の現状について」お話しいただき、その後、学校の規模別 8 グループ、更に各グループに先生方も入っていただき、「土曜授業・放課後学習に PTA がどのように関わることができるのか可能性を探る」というテーマで教育課程内、教育課程外の授業に PTA 関われる可能性があるのかなどについて話し合いました。話し合いの中では、関われる可能性がある授業として教育課程内では「図工」、「家庭科」、「体育」など、教育課程外では「教育講演会」、「保護者の体験談」、「職業講話」、SNS 対策などの「親子学習会」、「戦争体験」、「読み聞かせ」など様々なことが挙げられました。また、これらを進める上では地域との連携が必要であると多数の意見もありました。

その後の委員会では土曜授業を PTA が行うとして、PTA で現在行っている事業をそのまま授業にできるという単 P もある一方で、モチベーションがそこまでない、協力者が少なく難しいなどの意見もあり、進めるにあたっての課題も浮かび上がりました。これらのことを踏まえ今回の活動のまとめとして、PTA が土曜授業を行うことも可能であり、それを視野に入れて今後の土曜授業を検討していただきますよう市 P 連として教育委員会に提言することを第 3 回単 P 会長会議で市 P 連の皆様から承認いただきました。

今回の活動を通じて子どもたちのため、子どもたちの環境を良くするため、私たち生涯学習委員会は未来の PTA 活動についてたくさんの議論を重ねることができ、有意義な充実した時間を過ごせたと思っています。1 年間、生涯学習委員会のメンバーをはじめ、多くの皆様にたくさんのご協力を賜り、より PTA 活動について理解を深め、楽しく活動することができました。ありがとうございました。



グループ討議では活発な意見が交わされました



川崎指導課長より土曜授業の趣旨を伺いました



活動状況

- 6 月 2 8 日 第 1 回委員会
- 8 月 2 0 日 第 2 回委員会
- 1 1 月 1 日 第 3 回委員会
- 1 1 月 6 日 第 2 回単 P 会長会議
- 1 月 2 2 日 第 4 回委員会

未来委員会 報告

委員長 小野智久



本年度未来委員会の活動として、3回の委員会と、出張委員会を開催しました。そしてメインの事業であります第3回単P会長会議を主催しました。

今年の未来委員会テーマは、「変わっていきこう！PTA」でした。今後の未来委員会をどうするか、どんなプロジェクトを行っていくか考える1年にしようと思い、まずは会長同士の交流を深め活発な意見を言い合える委員会にしていきたいと考えました。

第1回委員会では、自己紹介、PTA会長になった経緯、会長としての悩みなどを話していただき、同じ悩みを共有できたと思います。第2回委員会は、8月に暑気払いを兼ね、今後の委員会のあり方などについて話し合いました。第3回委員会は、10月に行い、第3回単P会長会議の内容や役割分担、出張委員会として親子陶芸教室の企画会議を行いました。

その出張委員会は、11月、メンバーの永井委員の工房において開催しました。志摩会長をはじめ、鈴木情報委員長も参加して下さり、総勢12名で、ろくろなども体験させていただきました。うち子どもは6名で、本物の工房での体験は良い思い出になったと思います。

第3回の単P会長会議では、LINE等におけるいじめをテーマに研修しました。情報委員会の作成したアンケートの結果から、日立市におけるLINEなどを原因とした諸問題について様々なことがわかりました。そして、全国webカウンセリング協議会理事長である安川雅史氏の講演により、問題解決の糸口が見つかったと思います。

以上が今年度、委員会活動としての報告になります。1年間ご協力ありがとうございました。



親子陶芸教室を開催



SNS利用の危険性について安川氏の講演



活動状況

- 6月28日 第1回委員会
- 8月21日 第2回委員会
- 10月15日 第3回委員会
- 11月29日 陶芸教室
- 2月 7日 第3回単P会長会議

情報委員会 報告

委員長 鈴木啓之



平成 27 年度の情報委員会は、委員 10 名、常任委員 3 名、幹事局員 1 名と私を含めた 15 名で務めさせていただきました。1 年間を振り返ってみますと、「単 P との情報の架け橋」とした今年の活動テーマに則し、前年度から課題を引き継いだ市 P 連ブログの本格的な運用を始めました。

このブログ更新には市内各校から特色ある活動や、長年地道に続けてこられた活動、市 P 連各委員会の活動などを随時ご紹介することができました。

これらブログの話題を見ると、どの活動においても PTA 活動はたいへんですが、心地よい充実感や達成感が読み取れ、次の世代の PTA 活動に繋がると思いました。さらに、昨年度まで情報委員会において確立してきたホームページの更新作業や、広報紙『みらい』の発行を継承することもできました。お忙しい中、ブログや広報紙に寄稿していただきました皆様、ありがとうございました。

また、当初予定になかった追加事業として、未来委員会と合同で『青少年を守るためのインターネット安全利用 LINE やメール等インターネット環境に関するアンケート調査』を行い、第 3 回単 P 会長会議でまとめることができました。これにより子どもたちを取り巻くネット社会における問題点の抽出や、解決方法の一端を提示できたと思います。

最後になりますが 1 年間、情報委員会のメンバーをはじめ多くの皆様にたくさんのご協力を賜り、支えていただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



PTA 活動の投稿で活気づくブログ



懇親会も大事な情報収集の場



ホームページや広報紙について
いろいろなアイデアが提案されました

日立市 P 連ホームページはお役立ち情報が満載！ぜひご覧ください

“日立市 P 連”で検索ボタンをクリック！

URLはこちら ↓

http://www.net1.jway.ne.jp/pta_info/
<http://shi-p-ren.blogspot.jp/>(ブログ)

活動状況

- 6月28日 第1回委員会
- 8月 7日 第2回委員会
- 11月27日 第3回委員会
- 2月19日 第4回委員会
- 3月 1日 広報紙みらい42号発行

母親委員会 報告

委員長 大和田幸恵



今年度の母親委員会は「気軽に語ろう！ 学び合おう！ Beautiful Smile」をテーマに掲げ、年4回という少ない委員会活動でしたが、内容の濃い、楽しく有意義な研修ができました。

第1回委員会では、オリエンテーションと「PTA 活動で困っていることは？」をテーマにグループディスカッションを行いました。第2回委員会では、石鹼粘土を使ってバラの花を作る「ルナブランカ」のクラフトに挑戦。石鹼粘土のラベンダーの香りに癒されながら「親子学習会・研修会、何してる？」「少子化対策について」グループディスカッションしました。

第3回委員会は、県北P連女性ネットワーク委員会研修会を兼ねて食育講演会を行い、第4回委員会では、「保健室から見た子どもたち」と題して、楡形小養護教諭の但野久子先生から子どもたちの心と身体の成長についての貴重なお話を伺いました。また「単P役員・委員選考の悩みは何？」をテーマにグループディスカッションも行いました。

毎回のグループディスカッションでは、今年度のテーマ通りの、子育てに関することやPTA 活動に関することで困っていることや疑問に感じていることを、聞いて、しゃべって、学び合うことができたのではないかと思います。また母親委員会の活動を広く知っていただくために各学期末には「母親委員会だより」を発行しました。

「お弁当の日」活動は、12校が実施しました。さらに次年度以降、それぞれのPTAに合ったやりやすい方法で「お弁当の日」活動を展開していけるようにしたいと思います。

母親委員会活動にご支援・ご協力いただいた皆さん、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。



丁寧に指導いただきました



アンティークローズ完成！



盛り上がるグループディスカッション



優しく語る但野先生



活動状況

- 6月28日 第1回委員会
- 9月8日 第2回委員会
- 11月12日 第3回委員会
- 1月25日 第4回委員会

第47回日本PTA 関東ブロック研究大会 横浜大会 参加報告

市 P 連 日立市立小・中学校 P T A 連合会

とき 平成 27 年 10 月 24 日(土)～25 日(日)

櫛形小学校 PTA 会長 山形哲司

この度、「子どもの生きる力【知・徳・体・公・開】想いをつなぐ教育文明開化～子どもたちと見する未来への船出～」の大会スローガンの下に開催された関ブロ横浜大会に、茨城県内から集まった 194 名(日立市 P 連から 12 名)の PTA の仲間たちと共に参加いたしました。



第 4 分科会会場にて

初日の分科会では、第 4 分科会【体「健やかな体」】のテーマで、なでしてジャパンの FW で活躍中の大儀見優季選手の御主人、大儀見浩介氏の「メンタルトレーニングでポジティブライフ～心身共に健康になるために～」の講演を聴講しました。

エネルギッシュな大儀見氏の話は、終始笑いのある内容でした。今、私たちが子どもに向かって叱っている言葉について、「その言葉の意味は子どもたちに正しく伝わっていますか？ 重要なのは叱り方」との話し、言葉

には深い意味があるということを痛感し、たいへん勉強になりました。

その後、2 団体の事例発表は、地域の協力により 10 年ぶりに復活させた相撲の土俵で、近隣の小学校と対抗試合を繰り広げる活動や、伝統行事である海岸マラソン大会のために、近隣の学校の生徒と保護者、地域住民らが海岸清掃を行った等の発表がありました。いずれも保護者・教師・地域が一つとなり学校を盛り上げることで、子どもたちが生き生きと学校生活を楽しんでいる様子が伺えました。

2 日目の全体会では、昨年「一億総活躍国民会議」の民間議員に起用されました菊池桃子さんによる「いつも前を向いて自分さがし～キャリア形成論で親が目覚めること～」と題した記念講演が行われました。少子高齢化による総人口の減少により、現在、女性労働者が抱えている問題について、これからの子育てをする世代は、昔のように育児・家事を女性任せにするのではなく、夫婦共々で分担して女性が働きやすい環境を整える。そして社会全体で子育て世代を支えていく環境作りを推進する必要があるという内容に、来場していた参加者は真剣に聴講しておりました。

この 2 日間、とても充実し勉強になった PTA 研修会でした。大会当日は茨 P 連の皆様にはたいへんお世話になりました。

平成 28 年度は「茨城大会」です。皆さんと力を合わせて盛り上げて、大会を成功させましょう。



県北 P 連の仲間たちと共に



次回「茨城大会」のアピールをしました

飛べ！「十王鵜鳥舞」

十王中学校 PTA 会長 井澤利光

十王中学校では地域の特色を生かし、100年後に残る伝統として創作した「十王鵜鳥舞(うねどりまゐ)」の伝承と、地域での発表を2年生全員で11年前から毎年行っています。地域との連携、山の尾城跡に建つ校舎、十王という地名の由来、そして日本唯一の鵜の捕獲地として、「十王鵜鳥舞」は誕生しました。

毎年3学期のころに、3年生から2年生へと引き継ぎが始まります。日々練習を重ね、楽器の演奏や掛け声、踊りのひとつひとつの動作が徐々に身についていきます。特に十王(十人の王)はオーディションがあり、選ばれた子どもたちは猛特訓が始まります。踊りは、手を大きく伸ばし跳ねたりして大胆に見せたり、しゃがんで小さく見せる動きもあり、毎日ふくらはぎがパンパンになるまで練習をし、その後は部活動で更にヘトヘトになります。そんな2年生たちの日々の頑張りがあって、地域の方々への発表ができるようになります。



10月11日 ひたち秋まつりで発表

初めは9月の体育祭でお披露目です。続いて10月の「ひたち秋まつり」で踊ります。日立駅前広場で約2000人を前にして踊るのですが、とても感動的で圧巻です。10月の下旬には、十王地区運動会で十王地域の方々に披露します。次の年に2年生は3年生になって、8月の十王祭りで最後の踊りとなります。そしてまた次の学年へと引き継がれ「十王鵜鳥舞」は伝承されていきます。

また「十王鵜鳥舞」には、様々な道具や衣装があります。道具は、先生方が制作や修繕を行い、PTAの委員さんたちで着付けの手伝いや衣装の修繕を行い、翌年は次の担当委員さんたちに引き継がれていきます。

「十王鵜鳥舞」は子どもたちだけではなく、地域の人々に伝承されていく、素晴らしい伝統です。



迫力ある十王の舞



2人の息を合わせて 力強く

十王鵜鳥舞は、平成28年10月21日(金)に開催される、第48回日本PTA関東ブロック研究大会「茨城大会」の第2分科会(東海村・東海文化センター)にて披露される予定です。ぜひお越しください！

防災教育の発信基地として

東小沢小学校 PTA 会長 黒澤典史

東小沢小学校は日立市の最南端に位置する小学校で、すぐ近くには久慈川が流れています（海から 3 キロメートル・海拔 4 メートル）。

2011 年 3 月の東日本大震災では津波からの被害を避けるため、児童は教職員の車に分乗して高台にある坂本小学校に避難しました。その際、渋滞に巻き込まれたことに加え、茂宮川を遡上する津波を目のあたりにしました。このことから東小沢小学校の避難計画を大幅に見直すとともに、茨城県から防災モデル校に指定をされたことをきっかけに「地域と連携した防災教育」に力を注ぐようになりました。

2012 年度には「津波から命を守るポイントを 20 分で逃げ切れる高台」として、5 つの避難先候補地の長所・短所を整理し、適切な避難先の検討を行った結果、東日本高速道路株式会社(NEXCO 東日本)のご協力のもと、常磐自動車道日立南太田インターチェンジを避難先に決定しました。2013 年度には「登下校時の避難」として、児童が通学路の危険箇所確認及び防災絵地図の作成を行い、通学班単位でどのように避難するかを検討しました。さらに 2014 年度からは「児童が地域の人たちに教える防災教育」として、三角巾を使った救護方法や美味しい非常食の食べ方の紹介、防災グッズや救急救命の実演等を行いました。これらの内容は、防災シンポジウムや防災訓練の時に発信し、地域の方々からたいへん好評を得ております。



日立南太田 IC を目指しての防災訓練

今後も東小沢小学校では、地域の防災教育の発信基地として児童が絶えず地域と関わり、手を携えることで地域全体の安心に繋がっていきたいと思っています。



児童らによる適切な避難先の報告



救命方法の実演

東小沢小学校 <http://www.city.hitachi.lg.jp/higasiozawa-e/>

ようこそ！

大沼小スクールミュージアムへ！

大沼小学校 PTA 会長 堀内弘

平成 26 年 10 月 10 日に、「大沼小スクールミュージアム」は開館しました。

ミュージアム内で展示されている物は、大沼学区や水木学区の方々より唐箕(とうみ)・千歯こき・足踏み脱穀機・ながもちなど、明治・大正・昭和時代に使用された農機具約 50 点、家具約 30 点が寄贈され、地域の産業や生活を語る上でとても貴重な財産(文化財)です。これらの貴重な財産を郷土室 1(昔のくらし展)・郷土室 2(昔の農業展)に展示し、ひとつひとつ大切に丁寧に紹介されています。この大沼の地で行われていた産業や生活の歴史を、子どもたちに学習して欲しいと思います。

開館式では、なかよし和室にて、日本の伝統の一つの茶道体験や箏(こと)の学習、地域の方から大沼の歴史や自然についてのお話や紙芝居などが行われました。

「大沼小スクールミュージアム」制作には、大沼学区コミュニティ推進会、大沼学区高齢者クラブ連合会、親慈の会、本校(校長・教頭・教務主任・PTA)が参加し、協力して開館の運びとなりました。また、和室の制作においては、石岡市建築家・鶴井様のお力をお借りし、これまで教室であった空間が、「床の間」を備えた 18 畳間の和室に変身しました。2 月からは、地域の方から寄贈された 7 段飾りのおひなさまや、つるし雛を飾った「ひな人形展」が開催されています。



お茶会が行われました

全国的にも珍しいこの「大沼小スクールミュージアム」は、地域の力で開館することができました。この場をお借りして、開館にご尽力いただいたすべての方々に厚く御礼申し上げます。



展示品から産業や生活の歴史がわかります



プロジェクトメンバーによる展示品点検

大沼小学校 <http://www.city.hitachi.lg.jp/oonuma-e/>

LINEやメール等インターネット環境に関するアンケート調査について

未来委員会・情報委員会

青少年がインターネットを安全に利用するための取り組みとして実施しました『LINE やメール等インターネット環境に関するアンケート調査』につきましては、回答にご協力いただきましてたいへんありがとうございました。集計結果の詳細につきましては、市 P 連ホームページに「アンケート調査まとめ」を掲載しておりますので、そちらをご参照ください。

URL http://www.net1.jway.ne.jp/pta_info/tool/h27/h27_enquete.pdf

広報紙では、集計結果から見てくる現状と課題についての一考察を報告いたします。



【学校へのスマホ・ケータイの持ち込み】

防犯上の理由で持ち込みを許可制としている学校もあり、これは、両親の共働きや核家族化が進んだことにより、スマホやケータイ等を防犯上や家族間の便利なコミュニケーションの一つのツールとして与えていると言えます。

【ネットによるトラブルがあったか？】

ほとんどの中学校でトラブルが発生していますが、その多くが解決済みです。また小学校ではトラブルが少ない傾向にありますが、「その他」に寄せられた事例は全て小学校であり、内容から重大なトラブルに発展する可能性を秘めている様に考えられます。トラブルを防ぐために必要だと思う対策としては、①研修によりトラブルの元になる原因を理解すること、②ルール作り等のご意見がありました。

【トラブルがあった具体的な事柄】

寄せられた様々な事柄をまとめると、①ことばの取り違い、②画像・動画関係、③仲間はずれ、④悪口、⑤特殊事例などが挙がり、有効に使えば便利な道具ですが、上手に使いこなせていない現状があることがわかりました。

【トラブルはどのような経緯で解決に至ったか？】

先生が問題解決に当たっているケースが多く、トラブルの内容が「学校における児童・生徒同士」のため事情が把握しやすいことや、仲裁役として保護者同士で解決するよりも適任であることなどが考えられます。

しかし、重大なトラブルは学校(先生)だけで手に負えるものではないのは言うまでもありません。

【トラブルが解決に至った重要なポイント】

第三者が知るきっかけとして「当事者である子どもが誰かにそのトラブルを伝えている」、その対処として「先生が解決の場所を作っている」ケースが多く見られます。トラブルがあったら相談できる環境が大事であり、それは子どもの側からすれば「一人で抱え込まずに相談する」、大人側からすれば「いつでも相談できる」場を作り、コミュニケーション力と包容力で子どもに安心感を与えることが重要であると言えます。

これらのアンケート結果から市 P 連が考えるのは、子ども同士のトラブルは昔から存在しますが、SNS 等の場合はデータが残るため、いじめなどの把握が可能であり、親も情報収集ができるというメリットも考えられます。一方で、この課題の本質はスマホや SNS 等にあるのではなく、使用する本人、若しくは使用させている親の問題であるとも考え、人間同士の接し方を親子で話し合うなど、コミュニケーション能力の向上が必要と捉えました。

この度のアンケートにご協力いただいた学校関係者、単 P 役員の方々に深く感謝申し上げます。

日立市教育振興大会 発表報告

泉丘中学校 PTA 副会長 藤本ゆりか

7月31日(金)に開催された日立市教育振興大会において、「大規模校全員参加のPTA活動を目指して」と題し、私たちが取り組んだ役員選出方法改定の試みについて発表しました。以下、内容を抜粋してご紹介いたします。

PTA 活動、危機に直面

本校では近年、積極的にPTA活動に関わろうとする保護者の数が減少し、必要人員を満たすのに非常に苦労するという事態が慢性的に発生するようになりました。そしてついに、3学年委員会のエントリーが1名のみで欠員補填できないという事態に直面したことをきっかけに、私たちはいよいよ具体的な改革に踏み切りました。

役員募集方法の改定

私たちは問題点をふまえ、役員協力アンケートの内容を以下のように見直しました。

- ① 安易な協力回避を招かないため、また不公平感が生じないよう「全員参加」を原則とする。("1人のお子さんにつき3年間で1回はPTA活動に関わっていただく"ことを明記)
- ② 在籍期間3年のうち、どの時点で、どの委員を引き受けていただくことができるか記入できる表を採用し、必ず1箇所以上チェックしていただく。
- ③ このアンケートを新入生入学前に全員提出していただく。

新方式による募集の結果、アンケート提出率は100%で、全委員の必要数を満たすことができました。同時に3年分を見通して記入していただいたことにより、残る2年間の役員数確保に関しても把握することができました。

全員参加のPTA活動を目指して…“サポーター制度”導入の検討

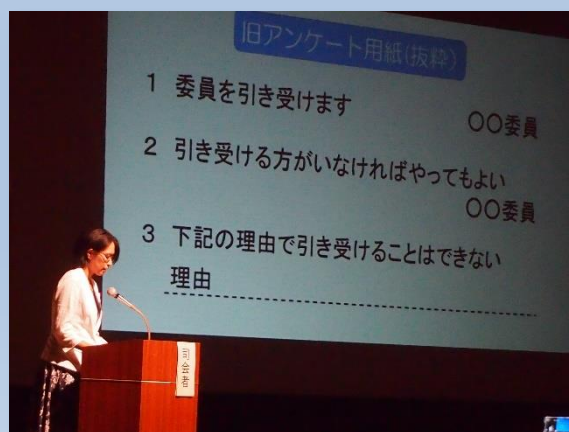
一方、PTA会員の人数が既存の委員会の必要数を大幅に超えているため、協力の意思を表明して下さったにも関わらず、どの委員にも属せない方が大勢出てしまいました。そこで解決策として、委員会以外の方々に向けて各種行事の準備や片付けなど必要に応じて協力要請する“サポーター制度”を導入することを検討しました。

試みに文化祭の準備・片付けの協力を募ったところ、たくさんのエントリーがあり、手ごたえを感じました。

今後の展望

PTA活動に対する意識の希薄化と、大規模校ならではの「自分がやらなくても誰かが…」という考えの蔓延により、私たちはPTA活動存続の危機に直面しました。しかし、これを契機に創意工夫をし、具体的な改革に踏み切ることによって、新たな可能性とPTA活動の新しい形を垣間見ることができました。

大規模校でも他人任せにならず全会員が活動に関わり、やがて巣立ちを迎える子どもたちのために、やりがいと喜びをもって参加することができるPTA活動を目指し、これからも努力していきたいと思えます。



泉丘中 PTA の発表

PTAとの連携について

日立市教頭会 会長 鈴木和彦



日立市立小・中学校 PTA 連合会の皆様には、日頃からたいへんお世話になっております。この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、PTA 創設の理念は、保護者と教師が学び合うことで教養を高め、その成果を家庭・学校・地域に還元し、児童生徒の健全な発達に寄与することであると伺っています。現在、子どもたちが抱えている様々な問題に対処していくには、とても学校の力だけでは不十分です。学校が保護者や地域と協力し合って解決していくことがますます重要になっていると思います。

しかし、その一方で、それぞれのご家庭の事情もあるかとは思いますが、毎年役員を決めるのにどの学校でもたいへん苦勞しているという話も聞かれます。私の勤務校でも例外ではありませんが、本年度、PTA との連携ですばらしい取り組みがなされたので、今後の PTA 活動のあり方を考える意味でもご紹介したいと思います。本年度、本校では PTA が中心となって、「田尻学区のことを知り、地域とのつながりを深めよう」をテーマに地域の伝統文化等を体験するイベントを実施しました。昨年度から実行委員会を立ち上げ、試行錯誤しながら作り上げた「ドキドキわんでい田尻」は大成功で、子どもたちは PTA や地域の方々と生き生きと活動していました。

私は、PTA 活動を活性化していくのは、児童生徒への愛情と熱意だと思います。「すべては子どもたちの笑顔のために」を合い言葉に協力し合い、教師も保護者も子どもたちと共に成長していけたらと思います。

茨P連女性ネットワーク委員会 研修会参加報告

とき 平成 27 年 7 月 11 日(土)
会場 大洗文化センター・漁村センター
幹事局 鈴木晶子(櫛形小)

今年度の研修会は、「子どもの自尊感情を養う」というテーマでグループディスカッションが行われました。日立市 P 連母親委員会からは 7 名が参加し、県内各地区から集まった女性ネットワーク委員の方々と 5 ～ 6 名のグループに分かれて活発な意見交換を行うことができました。

内容としては、まず「デビル言葉」「エンジェル言葉」を使って母親役・子ども役を交替で演じるというワークショップを行いました。自ら体験することによって、子どもの気持ちになって考えることができました。「早くしなさい、何をぐずぐずしているの!」「なんでこんな問題ができないの!」「今度は気をつけようね!」とかける言葉で、子どもの自尊感情(自己肯定感)を高めることも、失わせることもできるということに改めて気づかれました。

また今回の研修会は、ファシリテーター(進行役)として参加者の心の動きや状況を見ながらプログラムを進行していく方法を学ぶ機会でもありました。アイスブレイキング(初対面の者同士が緊張を解きほぐすための方法)の行い方や、中立な立場を守りスムーズな進行と深い議論、参加者の意見を引き出す技術は、今後の活動の中で紹介していきたいと思いました。



平成 27 年度茨城県 P T A 振興大会表彰式典

とき 平成 27 年 12 月 5 日(土)

会場 ホテルレイクビュー水戸(水戸市)



茨城県 P T A 連絡協議会 会長表彰 (団体)

泉丘中学校 P T A



茨城県 P T A 連絡協議会 会長表彰 (永年功労者)

金川勝也さん (中里中学校 P T A 前会長)

第 37 回全国小・中学校 P T A 広報紙コンクール
(社) 日本 P T A 全国協議会 奨励賞

大久保小学校父母と先生の会 「おおくぼ」



第 24 回茨城県 P T A 広報紙コンクール 入選

大久保小学校父母と先生の会 「おおくぼ」

塙山小学校父母と先生の会 「はなやま」

受賞おめでとうございます



第48回日本PTA 関東ブロック研究大会 茨城大会

平成28年 10月21日(金)
~22日(土)

第 48 回日本 PTA 関東ブロック研究大会が、10 月にここ茨城の地で開催されます。大会初日に茨城県内の 8 会場で行われる分科会では、私たち日立市 P 連は第 2 分科会(東海村・東海文化センター)を担当します。

第 2 分科会のテーマは「伝統と文化」。世代を越えて受け継がれていく茨城の伝統と文化を伝えます。また分科会のアトラクションとして、十王中学校の生徒たちによる「十王鶺鴒舞」の披露を予定しております。

大会の成功と子どもたちの健やかな育ちのために、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 27 年度 日立市立小・中学校 P T A 連合会スローガン

交流と成長の架け橋 日立市 P 連

編集後記

このたびの広報紙の発行にあたり、多くの皆様に多大なご支援・ご協力をいただきました。情報委員一同、心より感謝申し上げます。これからも皆様に親しまれる「広報紙みらい」を目指して参ります。(情報委員会)